



■高山稲荷神社

五穀豊穡、海上安全、商売繁盛の神様として大変ご利益のある神社です。この信仰には農業・商業・工業・漁業・家内安全・病氣平癒・道中守護・憑物落とし等多様多彩のものがあります。またここでしか見ることのできない幾重にも連なる鳥居はとてもインパクトがあり、一見の価値があります。



■ペンセ湿原

学術上貴重な海岸低層湿原及び中間層湿原(苔状が幾層も重なってきた湿原)で、6月上旬にはニコウキスゲが咲き乱れて一面が黄色に染まり、6月下旬ごろになると、ノハナショウブが咲き一帯は黄色から紫へと変わります。さまざまな草花が咲き誇るこの湿原は、1983年、日本自然百選に選定されました。

■つがる地球村

各種イベントが催される国際交流広場をはじめ、テニスコート、バターゴルフ場、オートキャンプ場、コテージ、ホテル等の宿泊施設、温泉があります。

【フルーティーワールド】

フルーツをイメージしたコンビネーション遊具。高低差を活かして、登ったり、潜ったり、滑ったり！遊具の中を回遊しながら、運動能力・体力向上がはかられます。複雑に交差する動線に、子ども達のワクワクもMAXです。



■縄文遺跡

令和3年7月27日、第44回世界遺産委員会の場で、正式に「北海道・北東北の縄文遺跡群」は世界文化遺産に登録されました。つがる市では、田小屋野貝塚と亀ヶ岡石器時代遺跡の2遺跡が「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産となっています。



■JR五能線木造駅

木造駅はJR五能線の駅で亀ヶ岡石器時代遺跡から出土した“しゃちゃん”こと遮光器土偶の形をした迫力ある駅です。土偶本体は、目を点滅させて電車の到着をお知らせし、乗客をお出迎え、お見送りをしています。本駅舎は、特徴ある駅として“東北の駅百選”にも選定されています。



■春まつり

会場の「平滝沼公園」は、昭和50年頃から桜が植樹され、現在は「ソメイヨシノ」「ヤエザクラ」「シダレザクラ」など約1,000本の桜が花を咲かせるようになりました。千本桜の並木道として、つがる市の春を彩ります。また、たくさんのキッチンカーが並び、地元店舗による飲食コーナーなど多くの出店が軒を連ね、ステージイベントもあり多くの人で賑わいます。



■メロン・スイカフェスティバル

メロン・スイカの即売会をはじめ、ステージイベントやメロン・スイカを使ったゲーム大会、スイーツ販売など盛りだくさんのイベントです。



■ネブタまつり

青森県内各地で行われるねぶた祭りの先陣を切って、毎年7月26日～28日の3日間にわたって開催されます。町内ごとに制作した個性豊かなネブタが出陣し、威勢のよい「喧嘩太鼓」で中心街を練り歩き、つがるの夏を彩ります。



■馬市まつり

明治36年から木造地区で始まった馬のせり市は大変な賑わいを見せましたが、農業の機械化が進むにつれて農耕馬が減少し、衰退していきます。そこで、馬にちなんだまつり行事として「馬市まつり」が昭和50年に始まりました。

出店やステージイベント、歌唱力を競う上原げんとのど自慢大会など多彩な催しで賑わいます。まつり最終日には、趣向を凝らしたパフォーマンスや仮装をしながら馬ねぶたをひいて中心街を練り歩く「馬ねぶたパレード」が行われます。夜には馬ねぶたに火が放たれ、新田開拓に尽くした亡馬の霊を昇天させる「新田火まつり」が行われ、まつりは最高潮を迎えます。

